WAP121およびWAP321アクセスポイントでの管理およびタグなしVLAN IDの設定

目的

管理VLANは、管理VLANで設定されたユーザだけがデバイスにアクセスできるように設定されます。タグなしVLANは、VLANタグなしでトラフィックを送信するために有効になっています。ネットワークにセキュリティを追加するには、管理VLANの設定が必要です。管理VLANに対する攻撃はネットワークセキュリティを侵害する可能性があるため、管理VLANとタグなしVLANをデフォルト以外に変更することを推奨します。

WAP121およびWAP321アクセスポイントのマネージドVLAN IDとタグなしVLAN IDの両方が、デフォルトでVLAN 1に設定されます。この記事の目的は、WAP121およびWAP321アクセスポイントで管理およびタグなしVLAN IDを設定することです。

該当するデバイス

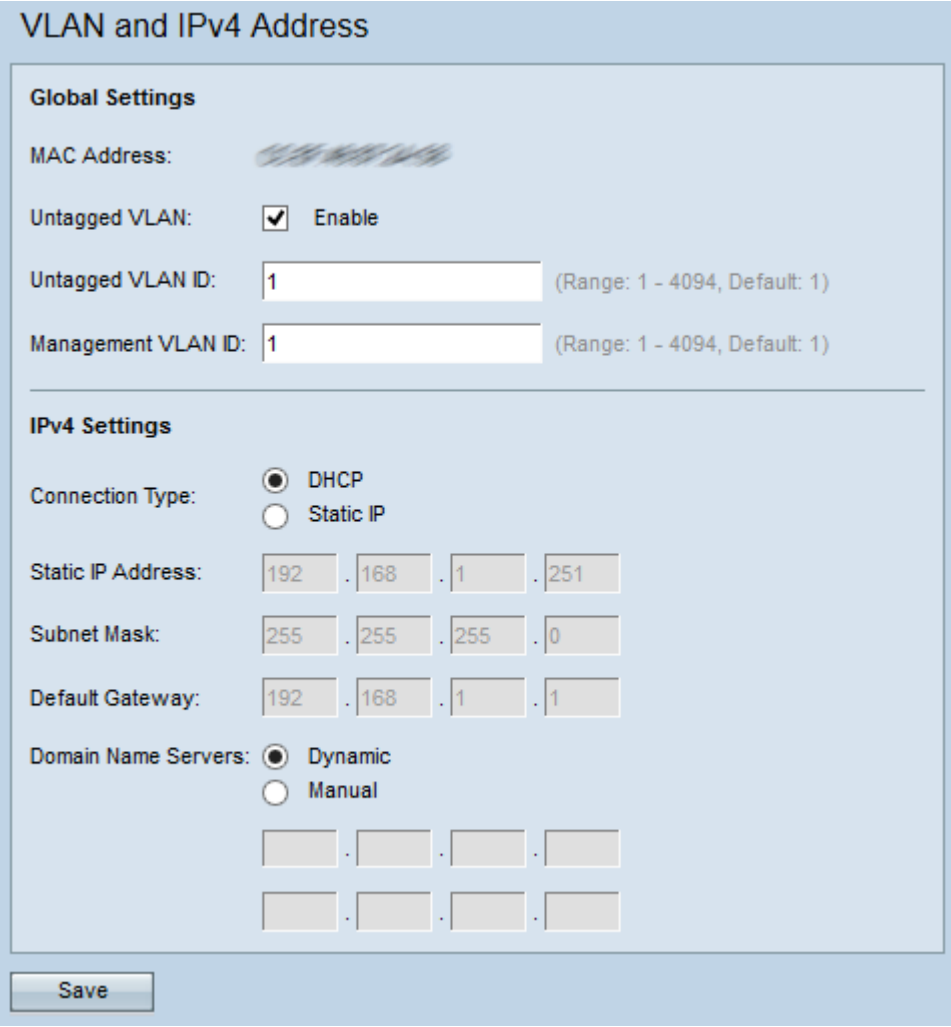
- WAP121
- WAP321

[Software Version]

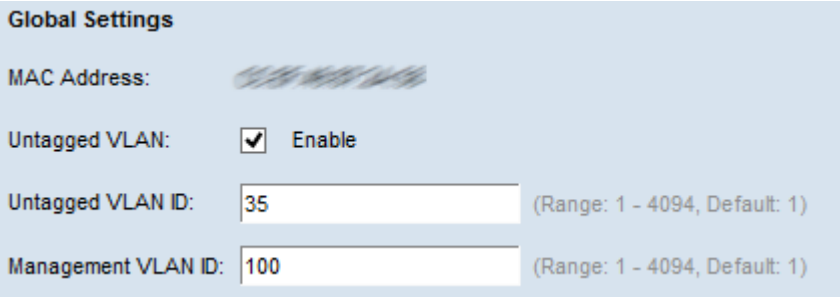
•1.0.3.4

グローバル設定

ステップ1：アクセスポイント設定ユーティリティにログインし、[LAN] > [**VLAN and IPv4 Address]を選択します**。[*VLAN and IPv4 Address]ページが開*きます。



注：[MAC Address]フィールドには、WAP121およびWAP321アクセスポイントのイーサネットポートのMACアドレスが表示されます。これらのアクセスポイントには、イーサネットポートが1つしかありません。



ステップ2:（オプション）デバイスがVLANにタグ付けされていないトラフィックを受信できるようにするには、[タグなしVLAN(Untagged VLAN)]フィールドの[有効化(Enable)]チェックボックスをオンにします。この機能は、タグなしVLANとしてマークされたVLANを持つスイッチポートに接続されたLANポートがある場合に使用されます。

タイムサーバ：タグなしVLANを有効にしていない場合は、ステップ4に進みます。

ステップ3:[Untagged VLAN ID]フィールドに、タグなしVLANのVLAN ID(1 ~ 4094)を入力します。デフォルトIDは1です。このVLANを通過するトラフィックはタグ付けされず、ネットワークに転送されます。このVLANは、スイッチポート上でタグなしVLANとしてマークされているVLANと同じである必要があります。

ステップ4:[Management VLAN ID]フィールドに、管理VLANのVLAN ID(1 ~ 4094)を入力します。管理VLANは、WAPが接続されているスイッチのVLANと同じである必要があります

。セキュリティ上の理由から、管理VLAN IDをデフォルトの1から別のものに変更する必要があります。

ステップ5:[Save]をクリックして設定を保存します。

注：IPv4設定の設定方法については、「*WAP121およびWAP321アクセスポイントのIPv4設定の設定」を参照してください。*